

ATC 施設利用・共同開発研究 成果報告書

国立天文台先端技術センター センター長 野 口 卓 殿

下記のとおり施設利用の成果を報告します。

ふりがな： 代表者氏名： 森野潤一	③所属機関，部局： 国立天文台光赤外研究部
研究課題名：超伝導赤外線検出器の検討	
利用期間：H 29 年 4 月 1 日 ～ H 30 年 3 月 31 日	
利用者リスト 森野潤一	
研究開発の成果（ATC 施設利用との関連を具体的に記述してください。） 今年度は実験（準備）に時間を割けなかったため、進展は少ない。しかし、論文サーベイから、同じ超伝導膜を用いた、素子のダークカウントの温度等依存性についての先行研究を見つけ、4K より低温側でも測定することが必要であることがわかった。該当する低温域の温度センサーについては、めどがついた。	
施設利用が謝辞等に記された学術論文など（資料を添付してください。） ありません。	
先端技術センターの利用設備・実験室等の利用した物品を具体的に記入してください。マシンショップへ依頼したリスト・利用した測定器・CAD 等について記入してください。 旧エレキショップの測定機の貸し出しや、コネクタ、抵抗などを使用しました。	
先端技術センターの施設への要望等ありましたら、記入してください。 旧エレキショップの機材のある部屋について： 財源がないのわかりますが、何とかエレキショップの機能とスペースは維持していただけないでしょうか。	